

## (4月23日) : 押し目買い需要でわずかに上昇

火曜日のベトナム株式は投資家が値下がりしている株を押し目買いしたため、上昇して取引を終えた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.22%上昇し968.00ポイントで取引を終えた。

VN指数は月曜日に0.04%上昇していた。

出来高は1億5500万株で、売買代金は4.13兆ドン（1億7750万ドル）ほどであった。

156銘柄が上昇したのに対し122銘柄が値下がりをした。

Thanh Cong証券（TCSC）によると、短期的な見通しが不透明な中で、投資家の警戒感が高まっている。

火曜日に流動性がわずかに改善したことは、投資家が大きく値下がりした銘柄を中心に押し目買いを始めていることを示していると同社は語った。

保険、不動産、テクノロジー、プラスチック・ゴム製造などのセクターは火曜日の市場を牽引した。

それらのセクター指数は0.5%から1.4%上昇した。

大型銘柄はまちまちでVN30指数は878.29ポイントで取引を終えた。

VN30指数の中で14銘柄が上昇し、11銘柄が下落した。

14銘柄の中では、特にサコムバンク（STB）、ペトロベトナム肥料化学（DPM）はそれぞれ4.3%と3.8%上昇した。

それら2銘柄はそれぞれ直近5営業日で4.5%と6.8%下落していた。

さらに、石油ガスセクターは原油価格の上昇を受けて上昇を続けた。

ブレント原油先物指数は0.6%上昇し74.53ドルで取引された。

しかし、VN 指数のわずかな上昇は投資家が安値圏の株だけに注目していることを意味しているとのことだった。

投資家はまだ大きく買いに出ようとはしていなく、市場全体ではなくいくつかの個別株だけに物色が広がっているだけであると TCSC は付け加えた。

つまり、投資家は短期的な株式市場の反発に自信を持っていないことを意味していると同社は語った。

反対に、水産加工と消費財は市場の重荷になった。

証券会社は第一四半期決算が振るわなかったことと 2019 年通期の予想も保守的だったため続落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.62% 上昇し 106.29 ポイントで取引を終えた。

月曜日の取引では 0.23% ほど下落していた。

出来高は 2950 万株で、売買代金は 3700 億ドンであった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。